

## 第3学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

- 1 主題 互いを認め、共に生きる
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい

- ・人権問題について学ぶ中で、その矛盾や不公平さに気づき、社会に残る偏見や差別について考え、変えていこうとする態度を育てる。
- ・自分自身の個性を尊重し力を伸ばすことや、他人との違いを認めることで、それぞれが社会で輝くことができることを理解する。

### 4 指導計画

#### これまでの学習

- ・総合的な学習の時間「病気に対する差別」（自作資料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ・総合的な学習の時間「君が僕の息子について教えてくれたこと」（ビデオ教材）・・・・・・・・ 1時間
- ・総合的な学習の時間「静かで賑やかな世界～手話で生きる子どもたち～」(NHK番組)・・ 1時間
- ・学級活動「宝探し」（伊島中学校との交流，仲間づくり）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ・総合的な学習の時間「奨学金制度を考える」（わたしの願い）・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ・総合的な学習の時間「幸せのカタチ“家”」（わたしの願い）・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ・総合的な学習の時間「娘の遺してくれたもの」（わたしの願い）・・・・・・・・・・・・ 2時間

#### 現在の学習

- ・総合的な学習の時間「許せない就職差別」（わたしの願い）・・・・・・・・・・・・ 2時間（本時2／2）

#### これからの学習

- ・総合的な学習の時間「職業と性別」（自作資料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ・総合的な学習の時間「性の多様性」（自作資料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

### 5 本時の学習

#### (1) 目標

社用紙の中にある矛盾や差別性を理解させ、社会に残る偏見や差別を解消していこうとする意欲を高める。

#### (2) 普遍的な学習のテーマ 偏見と差別

個別人権課題名 同和問題

#### (3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返る。	○答えるべきでない項目があったことを振り返る。
2 実際に社用紙を見て、書かなくてよいと思う項目を見つける。	○前回学んだこともヒントにすることを伝え、本人の適性や能力とは関係のない項目があることを理解させる。 ①
3 統一用紙と見比べ、差別につながる項目について班で話し合い、意見を発表する。	○それぞれが素直に考えを発表し、互いの意見を尊重し合える雰囲気づくりを心がける。 ③
4 14項目について確認する。	○14項目を提示し、今でも不公平な就職差別が存在することを認識させる。差別選考によって不採用となった人の気持ちを考えさせる。
5 自分自身の考えをまとめ、発表する。	○自分の意見を振り返り、自分の中にあつた差別に対する意識を認識させる。 ②

#### (4) 評価

- ・社用紙の中にある矛盾や差別性について理解できたか。 (知識的側面) ①
- ・自分の中の偏見や社会に残る差別意識に気づき、偏見や差別を解消していこうとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ②
- ・それぞれが違う考えをもっていることを知り、他者の意見を尊重することができたか。(技能的側面) ③